

まだまだ寒い日もありますが、木の芽のふくらみや花のつぼみに春を感じる嬉しい季節となりました。みなさん、お元気でお過ごしでしょうか。

さて、多可町社会福祉協議会では、2月に「地域で最期まで暮らすには」をテーマに講演会を開催しました。どんな状況でも人生の最期まで自宅や地域で生活を送りたいと願うのは誰もが同じだと思います。地域で最期まで暮らすには何が大事なのか、それを考えるきっかけになればと、開催した講演会です。その内容を下の介護のポイントにまとめておりますので、ぜひお読みください！

また、多可町介護者の会では、多可赤十字病院の協力をいただき、2月に介護技術講習会を開催しました。参加されたみなさんは高齢者によく見られる事故の予防や症状に関する対処方法について学ばれました。今後の介護に活かされることを期待しています！

3月の介護者の会はお休みとなり、4月からは新しい年度を迎えます。下に入会案内を掲載しておりますので、この機会にぜひご入会ください。みなさんと同じ立場の方々との出会いは、きっとかけがえのない時間になるとと思いますよ。

介護のポイント

地域で最期まで暮らすには～これからの在宅医療～

家族介護教室事業
清水政克氏の講演会より



1951年には病院で亡くなる人が9.1%、自宅で亡くなる人が82.5%でしたが、1978年頃を境に逆転し、2009年には78.4%が病院で亡くなり、自宅で亡くなる方は12.4%にとどまっています。なぜこのようなことになったかという、「家族に負担がかかる」「症状が急変した時の対応に不安」「経済的に負担が大きい」「往診してくれる医師がいない」などの理由が厚生労働省の調査で明らかになっています。

私たちは年を重ねると身体機能は徐々に低下し、それに伴いさまざまな不具合を自覚するようになります。そして、老衰が進み、やがて訪れる死という運命を避けることはできません。死に方を選べる人はいませんが、死ぬまでをどう生きるかということは選ぶことができます。

先生がお話の中で「**本人の選択**」が大事だと言われました。みなさん、この機会に人生の最期をどこでどのように暮らしたいかを考えてみられてはいかがでしょうか。また、ご家族と話し合われてはいかがでしょうか。

在宅医療は、医師や訪問看護師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ケアマネジャー、ヘルパーなど多くの専門職が関わり、連携を取りながら生活を支えます。町内にも、訪問診療や訪問看護を担われている医師や看護師がおり、実際に在宅医療を受けながら自宅で療養をされている方もおられます。

在宅医療を始めようかなと思われた方は、主治医、看護師や在宅医療介護連携相談窓口（多可赤十字病院地域医療支援センター内／32-3810）、介護サービスを受けられている方はケアマネジャーに相談してみてください。



ガイドブックの参照 『さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん』

生活支援体制整備事業 地域づくり講演会のご案内

開催日	開催時間	開催場所
3月 3日(土)	9:30~11:00	加美プラザ
3月 24日(土)	14:00~15:30	八千代プラザ
	19:00~20:30	中央公民館

※三回とも同様の内容です。ご都合のつく会場へお越しください。

テーマ みんなで始めるささえあい活動
～きづく・つながる・ささえあうのまちへ～

講師 酒井 保 氏 (ご近所クリエイション)
参加費 無料
定員 150名 (各会場とも)

**ぜひお越し
ください!**



多可町介護者の会では平成30年度の**会員を募集**します。介護をされている方同士でゆっくりお話のできる会です♪

- 対象者 家族を介護している方、介護経験者
- 内容 料理教室や健康体操、新年会やケーキ作り、他市町介護者の会との交流など (予定)
- 活動日 毎月1回程度 (予定)
- 会費 年間1,500円

《お問い合わせ、ご連絡先》

多可町社会福祉協議会
本部・中支部 32-3425
加美支部 30-8151
八千代支部 37-0360

